アメニティデザイン企業

DAIKEN

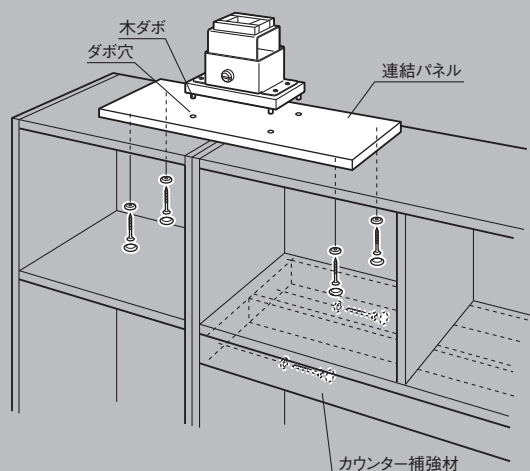
施工説明書／取扱説明書

施工業者様用／施主様用

Stylish Furniture

MiSEL

スタイリッシュファニチャー　ミセル

転倒防止金具

■施工の際は以下の工具をご用意下さい。

・ドライバー
・電動ドリル
※インパクトドライバーは金具が壊れる恐れがある為、使用しないでください。
・コンベックス等測定機器
・ゴムハンマー
・ホールソー（φ60以上/φ38用）
（オプションの配線キャップ使用の場合:φ38用）

●この製品の性能と安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき、手順通りに正しく施工してください。

●この説明書に出てくる ⚠**注意**や **施工上のご注意**は、施工上重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してから作業してください。

安全上のご注意 （必ずお守りいただきたいこと）

この説明書に書かれた注意事項は、施工される人への危害や、お使いになる人への危害や物的損害を防ぐためのものです。必ずお守りください。

危険の定義とシンボルマーク　この説明書では、「注意事項」を以下のような定義で使用しています。

⚠ 注意

取扱を誤った場合、施工者または使用者が重傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される場合

⚠ 注意

●一般住宅用の収納です、他の用途に使用しないで下さい。
●製品の改造はしないで下さい。製品強度が失われる可能性があります。
●表記の耐荷重を超えるものをのせないで下さい。脱落・破損し、ケガをする恐れがあります。
（耐荷重はカタログおよび取扱説明書に表記しています。）

転倒防止金具

本製品を使用する前に天井/床が下記仕様であるかご確認下さい。
本製品は下記条件でのみ使用可能としています。

・天井：RC直天井（またはRC直梁）
・床　：木質床（直貼り床）
・金具設置は、ユニット幅W800につき１つ使用してください。（W400×２ユニットでも同様）
・吊ユニットを設置する場合は、連結パネルをご使用ください。※詳細は項目２に記載
・W533ユニットを連結する場合は金具を２つ使用してください。

1．ユニットの設置

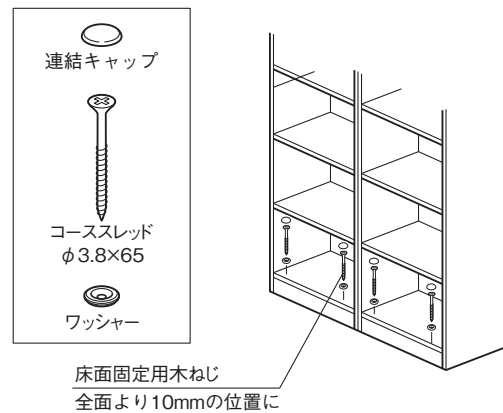
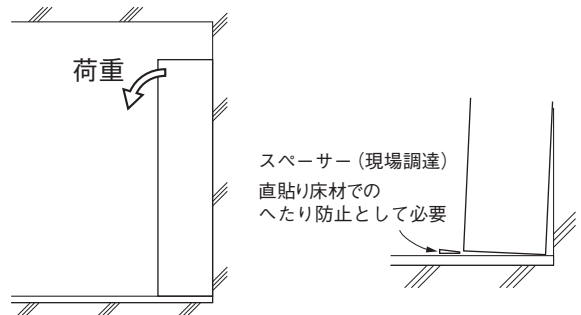
1）床の不陸によりユニットが垂直に設置できない場合があります。ユニットが壁面と垂直になるようにスペーサーを入れて調整してください。
※スペーサーの挿入によってできる隙間の処理に関してはお施主様とご相談の上シーリング処理などを施してください。

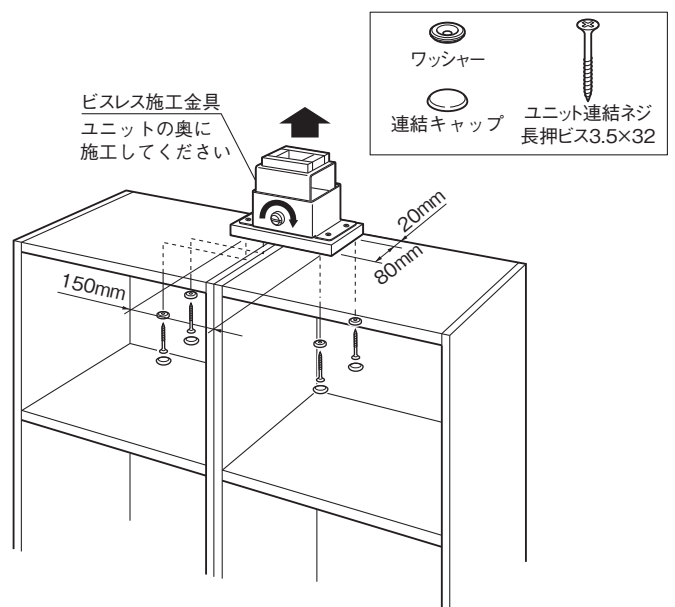
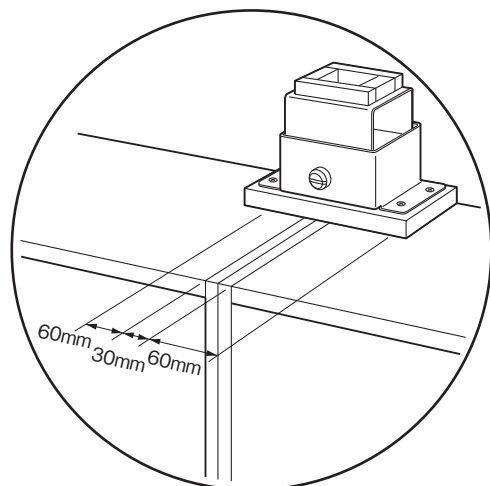
2）底板前木口より10mmの位置にビス固定してください。ビス固定の際は必ずリード穴をあけてください。

3）転倒防止金具を床置きユニット天面の後ろに設置し、ユニット内部から固定用ビスで固定します。

⚠警告　ユニット背面は必ず壁面と接地するようにしてください。離して施工すると地震などに対する耐久性が著しく低下する恐れがあります。

⚠注意　取り付けはユニット天面から天井までが100mm～125mm以内であること（連結用パネルを含む）

⚠注意　必ずリード穴を加工した後にビス固定してください。

4）転倒防止金具がしっかり固定されているか確認し、金具前面の調整軸を右に回転させ天井とユニットを突っ張らせてください。
調整軸の調整は、マイナスドライバもしくはコイン等で回転させてください。

⚠警告　調整は、金具上面の軟質材が10mmほどになるまで調整して下さい。調整が緩いと転倒等に対する耐久性が著しく低下する恐れがあります。

2. 吊ユニットの設置

・吊ユニットと連結する場合は連結パネル/カウンター下補強桟が必ず必要です。
　取付けを誤るとユニットが落下する恐れがありますので必ず取り付けてください。
・吊ユニットの連結はD300ユニットのみになります。D450を設置するとユニットが落下する恐れがありますので使用しないで下さい。

1）吊ユニットを連結して使用される場合は、「ユニット連結用パネル」（別品番）をご使用ください。
連結パネルに金具を連結する場合は、同梱の木ダボを差込み、連結してください。

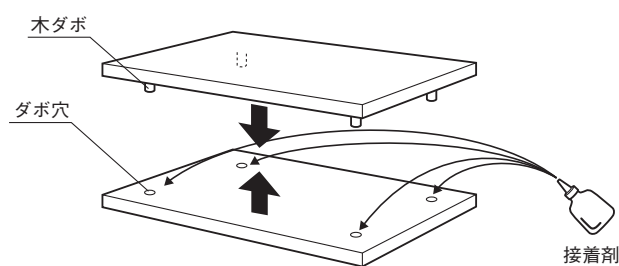
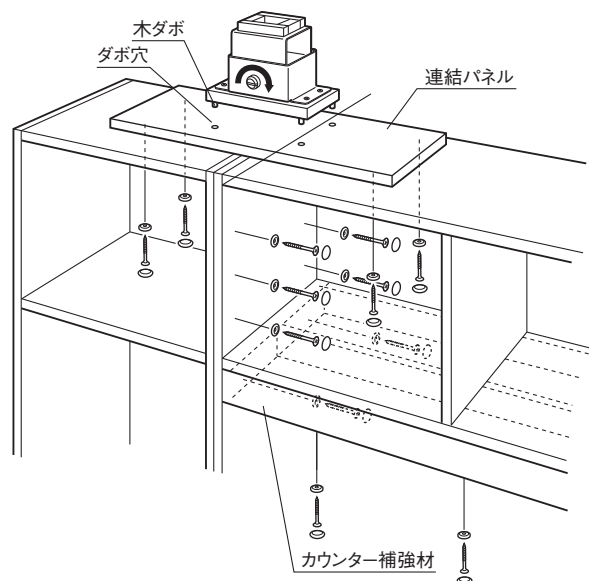
2）吊ユニット下部にカウンター下補強桟（別品番）を取り付けてください。

3）吊ユニットを連結します。連結は吊ユニットに同梱のφ3.8×28連結ビスにて6ヶ所ずつ両側とも固定してください。

⚠警告　カウンター下補強桟も必ず床置きユニットと連結してください。
取付けを怠るとユニットが落下しケガをする恐れがあります。

3）カウンター下補強桟の連結後連結パネルと固定した転倒防止金具をユニット天面に差し込んでください。
転倒防止金具を差し込んだ後、取付け位置を確認し、ユニット内部から連結パネルに向かってビスで固定してください。

4）転倒防止金具がしっかり固定されているか確認し、金具前面の調整軸を右に回転させ天井とユニットを突っ張らせてください。
調整軸の調整は、マイナスドライバもしくはコイン等で回転させてください。

⚠警告　調整は、金具上面の軟質材が10mmほどになるまで調整して下さい。調整が緩いと転倒等に対する耐久性が著しく低下する恐れがあります。

連結パネルを2枚重ねる場合

⚠警告
ユニットにガタツキが見られた場合は、フィラー材を取り外し、金具の圧蹄調整を必ず行ってください。ガタツキが発生したままですと、ユニットが転倒し、怪我をされる恐れがあります。

MEMO

北海道営業部
札幌営業所 ☎ 011-207-5330
函館事務所 ☎ 0138-47-7191
札幌特販営業所 ☎ 011-207-5330
旭川営業所 ☎ 0166-24-1377
帯広事務所 ☎ 0155-25-8421
東北営業部
盛岡営業所 ☎ 019-636-1161
秋田事務所 ☎ 018-862-4441
仙台営業所 ☎ 022-243-6621
山形事務所 ☎ 023-632-2711
東北特販営業所 ☎ 022-243-6621
青森営業所 ☎ 017-729-2201
郡山営業所 ☎ 024-946-7211
信越営業部
新潟営業所 ☎ 025-285-5887
信越特販営業所(新潟) ☎ 025-285-5887
長野営業所 ☎ 026-222-6311
信越特販営業所(長野) ☎ 026-222-6311
長岡営業所 ☎ 0258-33-5734
松本事務所 ☎ 0263-40-0370

北関東営業部
宇都宮営業所 ☎ 028-621-6431
宇都宮特販営業所 ☎ 028-621-6431
埼玉営業所 ☎ 048-669-0660
熊谷事務所 ☎ 048-527-5601
群馬営業所 ☎ 027-364-9811
首都圏営業部
東京営業所 ☎ 03-6271-7731
山梨事務所 ☎ 055-275-7931
横浜営業所 ☎ 045-222-4781
相模原事務所 ☎ 042-770-9130
平塚事務所 ☎ 0463-20-4771
多摩営業所 ☎ 042-571-3434
水戸営業所 ☎ 029-248-8511
つくば事務所 ☎ 029-849-2344
千葉営業所 ☎ 043-287-8491
我孫子事務所 ☎ 04-7183-4070
静岡営業所 ☎ 054-288-3881
首都圏住宅営業部 ☎ 03-6271-7721
首都圏集合住宅営業部 ☎ 03-6271-7751
首都圏リモデル営業部 ☎ 03-6271-7761

中京営業部
名古屋営業所 ☎ 052-205-5811
三河事務所 ☎ 0564-65-8681
岐阜事務所 ☎ 058-246-6752
名古屋特販営業所 ☎ 052-205-5811
浜松営業所 ☎ 053-458-5751
三重営業所 ☎ 059-226-7073
北陸営業部
金沢営業所 ☎ 076-262-3211
富山事務所 ☎ 076-429-7250
福井事務所 ☎ 0776-26-8508
北陸特販営業所 ☎ 076-262-3211
近畿営業部
大阪営業所 ☎ 06-6915-7041
和歌山事務所 ☎ 073-473-8090
大阪特販営業所 ☎ 06-6915-7041
兵庫営業所 ☎ 078-321-1822
京都営業所 ☎ 075-341-8151
沖縄営業所 ☎ 098-879-4916
中国営業部
広島営業所 ☎ 082-505-2525

山口事務所 ☎ 083-974-0303
広島特販営業所 ☎ 082-505-2525
岡山営業所 ☎ 086-262-2271
岡山特販営業所 ☎ 086-262-2271
四国営業部
高松営業所 ☎ 087-866-8500
高知事務所 ☎ 088-885-6202
高松特販営業所 ☎ 087-866-8500
松山営業所 ☎ 089-945-8569
徳島営業所 ☎ 088-622-6261
九州営業部
福岡営業所 ☎ 092-413-2345
北九州事務所 ☎ 093-522-1224
長崎事務所 ☎ 0957-35-0161
大分事務所 ☎ 097-533-8701
福岡特販営業所 ☎ 092-413-2345
熊本営業所 ☎ 096-372-5211
南九州特販営業所 ☎ 096-372-5211
鹿児島営業所 ☎ 099-254-8300
宮崎事務所 ☎ 0985-26-5908
西部住宅営業部 ☎ 06-6452-6232

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス　http://www.daiken.jp/

2009.08 現在